

作造は「宮城の先人」

大崎の記念館と仙台市民図書館共催
仙台の郷土史講座でテーマに



講演する吉野作造記念館の小嶋研究員

野への関心と知識を深めた。

同図書館と共催し講座を開くのは初めて。「みやぎの先人 吉野作造」と題して吉野作造記念館の小嶋翔研究員が講演した。

小嶋研究員は、旧仙台藩出身の小中学校や師範学校教師、弁護士、新聞記者らを中心に多

大崎市古川の吉野作造記念館(大川真館長)は仙台市民図書館と共催して6日、仙台市青葉区のせんだいメディアアテックで、大正デモクラシーの旗手、吉野作造をテーマに郷土史講座を開いた。仙台市民約40人が参加し、吉

く結社が自由民権運動を展開したことや、

旧仙台藩土で栗原郡刈敷村(現栗原市志波姫)出身の千葉卓三郎(1852～1883年)

が、民主的な内容を持つ私擬憲法「日本帝国憲法」(通称・五日本帝国憲法)を起草したことなどを説明した。

その上で「仙台藩が明治時代に起こした教育やキリスト教など、宮城で育った環境が吉野の大正デモクラシーの考え方の基礎になった」と話し、「吉野の考え方が育った経緯にも目を向け、郷土の歴史を知ることが大事」と結んだ。

参加者たちは熱心に聴講。「面白かった」「知らなかったことがあった」などといった意見があった。